

開催概要

会議名 日本こころの安全とケア学会第5回学術集会・総会
学術集会大会長 下里誠二（日本こころの安全とケア学会 会長）
学術集会実行委員長 木下愛未（信州大学学術研究院保健学系）
学術集会実行委員会 日本こころの安全とケア学会理事会

開催期間 2022 年 12 月 17 日（土）～18 日（日）

開催会場 Web 開催

（インターネット環境が必要となり、事前登録が必要となります）

開催テーマ 「共同する CVPPPP」

参加費 学会員の方 2,000 円
非会員 医療・福祉職の方 3,000 円
非会員 一般, 学生の方 1000 円

Petixにてお申し込みください。

<https://jascmh5th.peatix.com>

うまく申し込めないという方は 学会事務局 jascmh.cvppp@gmail.com までご連絡ください。

お問い合わせ先

日本こころの安全とケア学会事務局
〒842-0192 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津 160
（担当：永池昌博・山崎京子）
TEL：080-8809-1103（学会専用） FAX：0952-51-1433
Email: jascmh.cvppp@gmail.com
<https://www.jascmh.com/>

メイン会場

信州大学医学部保健学科 下里誠二／木下愛未
E-mail: sshimos@shinshu-u.ac.jp
akinoshi@shinshu-u.ac.jp

日本こころの安全とケア学会第5回学術集会・総会の開催のご挨拶

本会は精神科医療の中でのケアの方法として生まれた包括的暴力防止プログラム（Comprehensive Violence Prevention and Protection Program:CVPPP）を主力事業として展開している主に精神科看護者による学会です。CVPPPが目指すものは当事者の安心ですが、近年共同創造という用語が精神医療界でもよく用いられるようになり、当事者との共同創造が求められています。この時、医療者あるいは当事者のどちらかが一方的に行为主体性を形成するのではなく、医療や保健福祉とは異なる分野の方々も含め、それぞれがフラットに主体を持ち続けられるような共同性が必要になるでしょう。新型コロナウイルス感染症によって変化した社会が新たに進むべき未来は、いわゆる Co-agency という関係の在り方かもしれません。このことから、CVPPPは当事者との共同のみならず、広く社会の皆さんともつながっていくことを大切にしていきたいと考えています。

そこで第5回の学術集会では「共同する CVPPP」をテーマに様々な方々と触れ合う時間を大切にしていきたいと考えています。これまでは感染症拡大防止のためのオンライン開催でしたが、本年度からは、安価で手軽に全国の皆さんとつながるための手段としてのオンライン開催として、開催することといたしました。当事者の皆さん、精神科医療福祉の専門職の皆さんだけでなく、身体障害福祉の方や、地域の方など、様々な方々との企画を準備しております。これまで同様メイン会場は信州大学からお送りします。実行委員会は理事会が担当いたします。手作りの会になります。会期中ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、どうぞご理解いただき多数の参加をお待ちいたしております。

令和4年7月吉日

第5回 日本こころの安全とケア学会学術集会・総会 大会長

下里 誠二

(信州大学学術研究院保健学系)

ご案内

1. 参加受付について

1) 受付時間・場所

本会は Web 開催になりますので事前に案内された URL より時間になりましたらお入りください。スマートフォンまたはタブレット、もしくは、カメラ・マイク機能付きのパソコンとインターネット環境が必要になります。インターネットの利用料は各自でのご負担となります。安定した受信のためには高速のインターネット回線を推奨いたします。

2) 受付について

Web 配信は申し込んだ方のみが視聴できます。複数名で同時に視聴する場合は視聴者数分の申し込みが必要になります。

Zoom によるオンライン配信ではインターネット環境により音声や映像の途切れなどが生じる可能性があります。また信州大学のインターネットシステムのトラブルなどが起こる可能性もあります。当日の配信が不可能になった場合には、後日の放送など、できる限りの対応をさせていただきますが不慮の事故による中断など、いかなる場合もご返金には応じかねます。

参加区分	参加費
会員（学術集会のみの方）	2, 0 0 0 円
非会員（医療職・福祉職）	3, 0 0 0 円
非会員（一般）	1, 0 0 0 円

3) 学会参加証、領収証について

学会参加証、領収証は抄録集についています。

2. 開催中の注意事項

1) Web 配信には Zoom をメインで利用します。良質な環境維持のため、演者以外の方は、マイク、ビデオはミュートにしてご参加ください。マイク機能は適時運営側でミュートにさせていただきますことがあります。質問等で発言される場合は、手上げ機能をご利用いただき、司会者が指名後ミュートを外してご発言ください。

※CVPPP インストラクターフォローアップ研修会にも参加される方は研修対象プログラムに参加の時にはビデオをオンにしてください。

2) チャット機能での質問も受け付けますが、司会者が選択させていただくため、すべての質問にはお答えできないことがあります。後日質問と回答については可能な限り参加者に配信いたします。

3) オンラインでの開催になります。誹謗中傷、暴力的な発言は禁止です。特に年齢、カースト、障がい、民族、性同一性や性表現、国籍、人種、在留資格、宗教、性別 / ジェンダー、性的指向、従軍経験などの特性に基づいて個人や集団に対する暴力や差別を助

長する言動は開催そのものを中止せざるを得なくなる場合もありますので絶対に行わないでください。

- 4) 講演・発表などのビデオ撮影・写真撮影・録音はできません。画像(デスクトップ)キャプチャなどを使用しての録画は認められていません。
- 5) 演題発表など複数の Zoom ID を利用する際にはどの会場へも自由に入退室することができます。

3. 学会総会について

12月17日(土) 11:50-12:30 学会総会を行います。会員の方はご参加下さい。

4. 座長の方へ

- 1) セッション開始30分前までには Zoom にお入りください。
- 2) セッションの進行は座長の先生にお任せしますが、限られた時間内に発表が円滑に進行するようにご配慮下さい。

5. 一般演題発表者の方へ

1) 発表時間について

下記発表時間・討論時間の厳守をお願いいたします

セッション	発表	質疑	総合討論
一般演題	10分	5分	なし
シンポジウム	15分	休憩(5分)	35分

2) 進行について

- 1) 円滑な進行のため、時間厳守をお願いいたします。
- 2) 事前に発表用のデータ(パワーポイントもしくはPDF形式)をお送り下さい。提出は 12月11日(日)までに事務局(jascmh.cvppp@gmail.com) にお送り下さい。当日のパワーポイントもしくはPDFファイルの操作は座長が行います。時間になりましたらミュートを解除していただき、カメラをオンにしてお話しください。発表中のスライド移動については口頭で指示してください。
- 3) 配信では著作権法上著作権の設定された著作物を無断で出すことはできません。発表資料については、著作権の設定された画像や映像、音楽を使用しないでください。また引用については引用箇所を明示し誤りなく掲載し、引用の典拠について正確に省略せず表記してください。マーカーなど強調を演者が行った場合にはその旨を必ず示してください。

6. 演者(講師・シンポジスト)の方へ

1) PC 発表データについて

演者の方は念のため事前にデータ提出をお願いいたします。参加者に配布してよい資料は pdf 形式で提供する予定です。

- 2) 配信では著作権法上著作権の設定された画像や映像、音楽を使用しないでください。

また引用については引用個所を明示し誤りなく掲載し、引用の典拠について正確に省略せず表記してください。マーカーや強調などを演者が行った場合にはその旨を必ず示してください。

- 3) 操作は共有機能を利用して演者が行っていただきます。動画等をご利用の際には事前にテストをお願いいたします。その他、Zoom のブレイクアウト機能やその他のアプリによる掲示板機能などご利用の方は事前にお知らせください。
- 4) 本学術集会での発表内容は日本こころの安全とケア学会誌第 5 巻（令和 5 年発行予定）にて特集として掲載される予定ですのでご了承ください。掲載につきましては後日日本こころの安全とケア学会学術委員会からご連絡を差し上げます。
- 5) 発表時にお預かりしたデータは、本大会終了後、学術雑誌編集時まで保存させていただき、学術雑誌発表後に責任を持って消去いたします。

7. 日本こころの安全とケア学会からのお知らせ

1) 入会のご案内

ホームページ (<https://www.jascmh.com/application>) にて公開しております。

2) 録画に関して

トラブル等により後日期間限定配信等を検討しています。そのため、発表内容を録画させていただいています。

プログラム概要（案）

12月17日（土）	
9：00	オリエンテーション
9：10～9：20	開会式
9：30～10：30	【基調講演】 CVPPP と共同性 当事者と創る CVPPP から広がる未来
10：40～11：40	シンポジウム1 「つながる安全、安心 当事者、家族、医療者のつながりから生まれるもの」
11：50～12：20	学会総会
	休憩
12：50～13：50	演題発表
14：00～15：00	<p>【特別企画1】 ピアサポートと地域おこしの共同実践 ～ 精神障がい者が自分らしく生きていくための地域づくり「チームピアサポ」モデルの実現に向けて～（仮）</p> <p>長野県看護大学 屋良朝彦さん（哲学者）／NPO 法人子ども・若者サポート はみんぐ 高橋泰宏さん（当事者・ピアサポーター）／こころの医療センター駒ヶ根 三浦典子さん（保健師・看護師）</p>
15：10～16：10	<p>【特別講演1】</p> <p>増川ねてるさん（WRAP®アドバンスファシリテーター）</p> <p>テーマ： 「リカバリーと WRAP（仮）」</p>
16：20～17：20	【特別企画2】
17：20～18：20	交流会
12月18日（日）	
9：00～9：10	オリエンテーション
9：10～10：10	シンポジウム2「CVPPP を組織に根付かせるということ～管理職の視点で CVPPP の浸透を考える」
10：20～11：20	<p>「一般精神科病棟での強度行動障害への対応（仮）」</p> <p>肥前精神医療センター 精神科医長（療育指導科長） 會田千重さん</p>
11：30～12：30	<p>【特別講演2】</p> <p>「介助現場における暴力の考察～障害者自立生活運動の介助経験から」（仮）</p> <p>日本自立生活センター（JCIL）／立命館大学生存学研究センター 客員研究員 高橋 慎一さん</p>
12：30	閉会